

第1 歳入

諸 収 入

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
電気自動車急速充電器 利用料 (環境課)	74,500 円	地球温暖化対策としての電気自動車の普及を目的として、平成 23 年度から電気自動車用急速充電器の 24 時間無料開放を行ってきたが、都内における一般開放された急速充電器が一定数を越えたことを踏まえ、平成 25 年 10 月 1 日から課金を開始し、受益者負担による公平性の確保を図った。 ・利用料 1 回 500 円 (最大 30 分まで) ・利用回数 4 月～9 月 (課金開始前) 1,871 回 10 月～3 月 (課金開始後) 149 回

第2 歳出

1 一般会計

(1) 総 務 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 市長車等運転業務委託 (秘書広報課)	4,242,368 円	市長、理事者等が公務に際し利用する市所有の市長車等の運転業務を民間業者に委託し、経費削減を図った。 ・稼働日数 243 日 ・市長車等運転業務委託料 4,242,368 円
2 清掃等委託 (契約管財課)	8,935,500 円	室内環境の改善を図るため、執務室内の床カーペット清掃を 1 回追加するとともに、木製キャビネット上部の清掃を新たに追加した。 ・清掃等委託料 8,935,500 円
3 電気保安業務委託 (契約管財課)	919,800 円	庁舎の節電を図るため、電気使用量監視 (最大需要電力 (デマンド値) の監視) 業務を追加した。 ・電気保安業務委託料 919,800 円
4 丘の広場管理等委託 (契約管財課)	601,650 円	専門業者により、丘の広場の芝刈り、除草及び庁舎の樹木剪定を実施した。 ・丘の広場管理等委託料 601,650 円
5 防災無線室等冷暖房空調設備改良工事 (契約管財課)	1,718,010 円	防災無線室及び第二棟 5 階機械室における夏場の高温による設備機器への影響を解消し、第 3 会議室の室内環境の改善を図るため、空調機器の改良工事を実施した。
6 広報の発行 (カラー化) (秘書広報課)	15,328,886 円	広報ふっさの紙面を 2 色刷りから 4 色刷り (カラー) に変更し、より見やすく、分かりやすい紙面として情報を提供した。 ・印刷製本費 5,411,683 円 ・広報配布委託料 9,478,975 円 ・広報編集用機器借上料 438,228 円
7 動画編集等委託 (秘書広報課)	739,725 円	福生市が持つ様々な魅力を効果的に発信するため、質の高い動画の作成が可能な専門業者へ、市職員が撮影した動画の編集及び職員に対する撮影・編集の技術指導等を委託した。 ・作成本数 6 本 ・撮影技術指導 8 回

事業名等	事業費	内容と成果
8 まちづくり総合活性化 研究委託 (企画調整課)	2,940,000円	まちを構成する重要な要素である人口、土地利用、交通、社会インフラ及び産業の5つの分野を分析・研究し、将来人口のシミュレーション及び政策提言を行った。 研究に当たっては、公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩の協力のもと、学識経験者を指導教授として職員が参加する5つのワーキンググループを組織し、職員の政策形成能力の向上を図った。(東京都市町村総合交付金まちづくり振興地域特選事業を活用) ・成果品 まちづくり総合活性化研究報告書 A4判 300部
9 福生市総合計画(第4期)修正後期基本計画の策定 (企画調整課)	7,602,000円	福生市総合計画前期基本計画が平成26年度に期間満了となることに伴い、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする修正後期基本計画策定のための基礎調査を実施した。 ・社会動向分析及び福生市の現状把握 ・将来人口推計及び財政分析 ・市民意識調査の実施 ・前期基本計画の評価と課題整理 ・成果品 福生市総合計画(第4期)修正後期基本計画策定基礎調査報告書 A4判 250部 福生市総合計画(第4期)修正後期基本計画策定基礎調査報告書(概要版) A4判 100部
10 庁内ネットワーク更新 (情報システム課)	6,584,277円	新庁舎建設に伴い、平成18年度から順次構築した庁内ネットワークについて、機器の借上期間満了に合わせて再構築を実施した。 ・庁内ネットワーク更新委託料 5,054,700円 ・庁内ネットワーク機器借上料 平成25年度借上料 1,529,577円 (借上期間 平成26年1月1日から平成30年12月31日まで) (契約総額 30,591,557円)
11 東福生駅西口仮設自転車置場設置工事 (安全安心まちづくり課・まちづくり計画課)	703,500円	東福生駅前の歩道の放置自転車対策として、JRの所有する駅構内敷地を借用し、仮設の自転車置場を設置した。 ・借用期間 平成26年2月7日から平成27年9月30日まで ・場所 福生市大字福生2028番地 ・構造 平面式 ・規模 自転車70台分
12 町会・自治会備品購入 (協働推進課)	2,496,900円	地域活動に対する関心や意識を高めるため、活動時に役員等が着用する統一したデザインのジャンパーを購入し、地域住民へコミュニティ活動の周知を行い、地域の活性化を図った。 ・町会・自治会用ジャンパー 410枚
13 町会等会館建設費補助金 (協働推進課)	26,223,000円	地域住民の活動の拠点である会館の建て替え、修繕及び備品の購入に対して経費の一部を補助し、地域住民の福祉の向上を図った。 ・会館建設費補助金(本町第八第一町内会 本八第一会館新築工事) 24,417,000円 ・会館修繕費補助金(1件) 213,000円 ・会館等備品費補助金(7件) 1,593,000円
14 防犯設備整備事業補助金 (安全安心まちづくり課)	1,086,000円	福生商店街協同組合が実施した防犯カメラ等の設置事業に対し、費用の一部を助成し、犯罪の防止、予防、再発防止等の防犯対策の向上を図った。(平成25年度東京都防犯設備の整備に対する区市町村補助金を活用)

事業名等	事業費	内容と成果
15 スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会 福生市実行委員会補助 金 (国体推進室)	61,835,797 円	<p>スポーツ祭東京 2013 における第 68 回国民体育大会ソフトボール競技(成年女子)の成功に向けて、関係機関・団体等の代表者により組織された「スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会」に対し補助金を交付することにより、当該大会の開催準備を推進した。</p> <p>スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福生市の開催競技 ソフトボール競技(成年女子) 2 競技会期 平成 25 年 9 月 29 日(日) から 10 月 1 日(火) まで 3 会場 福生野球場及び市営競技場 4 成績 優勝 群馬県 準優勝 愛媛県 第 3 位 東京都 栃木県 第 5 位 北海道 長崎県 愛知県 福岡県 5 福生市における大会関係者・観覧者数(3 日間延べ) (1) 大会関係者(選手・役員等) 2,045 人 (2) 一般観覧者 20,150 人 6 デモンストレーションとしてのスポーツ行事 (1) 開催競技 シニアソフトボール ハイシニア(65 歳以上) 東京都上位 4 チーム参加 (2) 開催日時 平成 25 年 10 月 6 日(日) (3) 競技会場 福生野球場 (4) 参加チーム 福生市 町田市 青梅市 瑞穂町 (5) 成績 優勝 福生市 準優勝 青梅市 第三位 町田市 瑞穂町
16 固定資産税電算委託 (システム改良分) (課税課)	7,977,858 円	<p>土地評価事務の効率化を図るため、通常の固定資産税電算委託にシステム改良を追加した。</p> <p>土地の画地、地積等が変更になった場合、評価額・課税標準額を土地負担調整制度導入以前の昭和 63 年度までに遡って計算する必要があるため、表計算ソフトやデータベースソフトにより計算をしていたものを固定資産税電算システムで計算処理できるように改良した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税電算委託料 7,977,858 円 うちシステム改良分 472,500 円
17 オリジナルナンバープ レート(原動機付自転 車標識)導入事業 (課税課)	325,500 円	<p>福生市公式キャラクターに「たっけー☆☆」が位置付けられたことに伴い、キャラクターの認知度を高めるとともに、キャラクターを通じて福生市の魅力を発信していくことを目的として、原動機付自転車「たっけー☆☆」オリジナルナンバープレートを導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成枚数 原動機付自転車 第一種 50 cc 以下 500 枚 第二種(乙) 51 cc 以上 90 cc 以下 100 枚 第二種(甲) 91 cc 以上 125 cc 以下 200 枚 ・交付開始日 平成 26 年 1 月 7 日(火)
18 戸籍総合システム(戸 籍副本データ管理シス テムの構築) (総合窓口課)	1,585,500 円	<p>災害時において、戸籍データの正本及び副本が同時に滅失する危険を防止し、市民の身分関係情報の安全な保管・管理を行うため、戸籍副本データの管理に対応したシステムを構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍副本データ管理システム改良委託料 1,522,500 円 ・戸籍副本データ管理システム保守委託料 63,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
19 住民基本台帳ネットワークシステム事業（外国人住民対応） (総合窓口課)	3,810,255 円	住民基本台帳法の適用となった外国人住民に対し、住民基本台帳ネットワーク及び住民基本台帳カードの運用が平成 25 年 7 月 8 日から開始されることに伴い、住民基本台帳システム等の改良を行い、住民票コードを付番した。 1,863 世帯、2,476 人に通知を発送した。 ・印刷製本費 60,900 円 ・通信運搬費 158,355 円 ・住民基本台帳システム改良委託料 3,591,000 円
20 参議院議員選挙の執行 (選挙管理委員会事務局)	18,388,485 円	平成 25 年 7 月 28 日任期満了に伴う参議院議員選挙を執行した。 ・公示日 平成 25 年 7 月 4 日（木） ・投票日 平成 25 年 7 月 21 日（日） ・当日有権者数 47,414 人 ・東京都選出 ・投票者数及び投票率 24,410 人 51.48% ・比例代表選出 ・投票者数及び投票率 24,410 人 51.48% ・総事業費 18,388,485 円
21 東京都議会議員選挙の執行 (選挙管理委員会事務局)	21,079,262 円	平成 25 年 7 月 22 日任期満了に伴う東京都議会議員選挙を執行した。 ・告示日 平成 25 年 6 月 14 日（金） ・投票日 平成 25 年 6 月 23 日（日） ・当日有権者数 46,940 人 ・投票者数及び投票率 18,089 人 38.54% ・総事業費 21,079,262 円
22 東京都知事選挙の執行 (選挙管理委員会事務局)	27,795,231 円	平成 25 年 12 月 19 日辞職願提出に伴う東京都知事選挙を執行した。 ・告示日 平成 26 年 1 月 23 日（木） ・投票日 平成 26 年 2 月 9 日（日） ・当日有権者数 47,001 人 ・投票者数及び投票率 18,629 人 39.64% ・総事業費 27,795,231 円

(2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 サービス等利用計画作成事業 (障害福祉課)	2,024,284 円	障害者総合支援法により障害福祉サービス又は地域相談支援を利用する全ての障害者等を対象に、障害福祉サービス支給決定時のサービス等利用計画の作成等について計画相談支援給付費を支給した。 ・サービス利用計画作成費負担金 136 件 2,024,284 円
2 障害者等ヘルプカード作成・促進事業 (障害福祉課)	1,093,444 円	東京都の標準様式に沿ったヘルプカードを作成し、障害者（児）及びその家族等に配布して、緊急時、災害時等の支援の一助とした。 ・消耗品費（カードホルダーほか購入） 488,644 円 ・印刷製本費 4,500 枚作成 604,800 円
3 福祉センター食器洗浄機及び冷凍冷蔵庫借上 (介護福祉課)	432,000 円	高齢者配食サービス事業、高齢者デイサービス事業及び障害者デイサービスで使用している食器洗浄機及び冷凍冷蔵庫が老朽化したため、機器の借上げによる更新を行った。（借上料は、福祉センター施設指定管理委託料に含む。）

事業名等	事業費	内容と成果
4 赤ちゃんはじめての絵 本事業 (子ども育成課)	554,539 円	親子のコミュニケーションの大切さを伝えるため、3～4か月児健康診査の際に図書館ボランティアによる読み聞かせを行い、出生記念として絵本を贈呈し、子育て支援の充実を図った。 ・絵本 230,202 円 ・エコバック 269,587 円 ・たっけー☆☆缶バッジ 54,750 円
5 子ども・子育て支援事 業基礎調査委託 (子ども育成課)	3,150,000 円	子ども・子育て関連3法の成立に伴い、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の本格実施に向け、子ども・子育て支援のニーズ等を把握し「子ども・子育て支援事業計画」を策定するため基礎調査を行った。 ・子ども・子育て支援事業計画策定基礎調査委託料 3,150,000 円
6 母子家庭等自立支援教 育訓練給付金 (子育て支援課)	43,900 円	ひとり親家庭の経済的自立を図るため、母子家庭の母又は父子家庭の父が就労につながる講座を受講した場合、その経費の一部を助成する制度である。 平成25年度から給付対象者に父子家庭の父を追加した。 ・給付実績 2名(父子家庭の父については、実績なし) 43,900 円
7 母子家庭等高等技能訓 練促進費事業 (子育て支援課)	2,346,000 円	母子家庭の母または父子家庭の父が、国家資格を取得するために2年以上の養成機関で受講する場合、訓練促進費及び入学支援修了一時金を給付し、生活の負担の軽減を図る事業である。 平成25年度から給付対象者に父子家庭の父を追加した。 ・給付実績 3名(父子家庭の父については、実績なし) 2,346,000 円
8 改訂版児童虐待防止マ ニュアル作成 (子育て支援課)	197,400 円	平成20年度に作成した関係機関向けの児童虐待防止マニュアルの改訂版を作成し、関係機関に配布することにより、児童虐待対応の徹底と意識の向上を図った。 ・印刷製本費 2,000部作成 197,400 円
9 ファミリー・サポー ト・センター事業 (子育て支援課)	3,023,220 円	地域における子育て支援及び児童福祉の向上を図るため、ファミリー・サポート・センターを設置し、市民等の育児の相互援助活動の支援を行った。 ・登録会員 99人 ・援助活動 459回
10 子ども応援館外壁及び 屋上防水改良事業 (子育て支援課)	16,920,750 円	平成24年度的设计委託に基づき、外壁及び屋上防水の改良工事を実施した。 ・監理委託料 645,750 円 ・工事請負費 16,275,000 円
11 子ども・子育て審議会 の設置 (子ども育成課)	300,820 円	子ども・子育て支援事業計画の策定に当たり、子育て当事者等の意見を反映するため、審議会を設置した。 ・審議会委員 14名(任期3年) ・委員報酬(1人当たり日額8,500円) 297,500 円 ・費用弁償 3,320 円
12 子ども・子育て支援新 制度システム導入委託 (子ども育成課)	—	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の本格実施に向け、国・都との電子システムの接続、支給認定、確認・認可等の新たな業務を行うため電子システムの導入を行う。 債務負担行為 期間 平成25年度～平成26年度
13 プレイパーク(冒険遊 び場)を考える会の設 置 (子ども育成課)	20,000 円	子どもが自己の責任において自由な発想で遊べる環境の場としてのプレイパーク(冒険遊び場)を創造するため、市民参加によるプレイパークを考える会を設置し、課題及び問題点の検討を行った。 ・プレイパークを考える会 4回実施 ・羽根木プレーパーク視察 1回実施 ・講師謝礼 20,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
14 保育士等処遇改善臨時 特例事業 (子ども育成課)	27,193,000 円	保育士の人材確保対策を促進する一環として、保育士等の処遇改善に要する費用を私立保育所に交付し、保育の充実を図った。 ・対象職員 私立認可保育所に勤務する保育士、調理員、用務員、事務員等 ・交付先 市内私立認可保育所 13 園
15 延長保育委託事業 (子ども育成課)	23,947,400 円	保護者の就労形態の多様化に対応するため、これまで実施してきた 1 時間の延長保育に加え、新たに認可保育所 2 園で 2 時間延長保育を開始し、市民サービスの充実に努めた。 ・ 1 時間延長保育 認可保育所 11 園 ・ 2 時間延長保育 認可保育所 2 園
16 一時預かり保育委託事業 (子ども育成課)	3,080,500 円	多様化する保育ニーズに対応するため、認可保育園 1 園に一時預かり保育の専用スペースを設けるとともに、一定期間継続的に預かる定期利用保育を開始し、市民サービスの充実を図った。 ・一時預かり保育（空きスペース） 12 園 ・一時預かり保育、定期利用保育（専用スペース） 1 園
17 休日保育委託事業 (子ども育成課)	4,549,610 円	多様化する保育ニーズに対応するため、休日保育を実施する保育所を増やすとともに、年末保育を行い、市民サービスの充実を図った。 ・休日保育 認可保育所 2 園 ・年末保育 認可保育所 1 園
18 保育従事職員等処遇改善事業 (子ども育成課)	1,826,000 円	保育士の人材確保対策を促進する一環として、保育従事職員等の処遇改善に取り組む東京都認証保育所に対して、改善に要する費用を交付し、保育の充実を図った。 ・対象職員 東京都認証保育所等に勤務する保育士、調理員等 ・交付先 市内認証保育所 2 園
19 すみれ保育園園舎解体 工事 (子ども育成課)	20,657,700 円	平成 25 年 4 月の民営化に伴い、廃園した公立すみれ保育園の旧園舎を解体した。 ・地上 2 階建て 393.7 m ² ・工事請負費 20,657,700 円
20 赤ちゃん・ふらっと事業 (子ども育成課)	392,700 円	乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境の整備を図るため、子育て支援拠点である田園児童館及び熊川児童館に授乳室を設置した。 ・田園児童館授乳室設置工事 237,300 円 ・熊川児童館授乳室設置工事 155,400 円
21 武蔵野台児童館冷暖房 空調設備改良事業 (子ども育成課)	25,177,698 円	平成 8 年の開設から 16 年を経過した武蔵野台児童館について、空調設備の老朽化が進んでいたため改修工事を行い、子育て支援拠点施設の充実を図った。 ・消耗品費 9,198 円 ・設計委託料 1,018,500 円 ・監理委託料 1,050,000 円 ・工事請負費 23,100,000 円

(3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 専用水道事務等の事務 委託 (健康課)	874,924 円	地域主権改革に伴う権限移譲に伴い、平成 25 年 4 月から市が実施主体となる水道法に係る事務（専用水道事務等）について、東京都に再委託を行った。

事業名等	事業費	内容と成果
2 福生病院組合建設費負担金 (健康課)	366,130,000円	2市1町(福生市、羽村市及び瑞穂町)で運営する公立福生病院の建て替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図った。
3 乳がん・子宮頸がん集団検診 (健康課)	649,500円	乳がん検診については40歳以上、子宮頸がん検診については20歳以上の女性を対象に、女性の健康週間中の平成26年3月2日(日)に保健センターへ検診車を手配して、集団検診を実施した。 40歳以上の希望者については、2種類の検診を同時に受診可能とすること、検診スタッフを全て女性にすること等で受診機会の拡大及び市民サービスの向上を図った。 ・がん検診委託料 649,500円
4 胃・肺がん検診 (健康課)	3,690,400円	35歳以上の市民を対象に実施する胃がん及び肺がん検診の回数を各1回ずつ増やし、受診機会の拡大を図った。 ・実施回数 胃がん検診 年8回(前年度7回) 肺がん検診 年6回(前年度5回) ・がん検診委託料 3,690,400円
5 未熟児養育医療給付事業 (健康課)	2,968,202円	未熟児の健康増進を図るために、養育に必要な医療の給付を行った。 ・職員旅費 2,880円 ・消耗品費 1,522円 ・通信運搬費 5,000円 ・医療費審査支払委託料 1,264円 ・申請件数 16件 ・医療給付費 14件 2,957,536円
6 先天性風しん症候群対策予防接種事業 (健康課)	1,176,075円	免疫のない女性が妊娠中風しんに罹患することにより胎児が先天性風しん症候群を発症する事を予防するため、19歳以上で妊娠を予定又は希望している女性又は妊娠している女性の夫(児の父親)に対し接種費用の助成を行った(麻しん風しん混合ワクチンを接種した場合は5,000円、風しんワクチンを接種した場合は3,000円)。 ・対象者 528人 区分A 妊娠を予定または希望している女性 426人 区分B 妊娠している女性の夫(児の父親) 102人 ・申込者数 255人 区分A 妊娠を予定または希望している女性 194人 区分B 妊娠している女性の夫(児の父親) 61人 ・接種者数 234人 区分A 妊娠を予定または希望している女性 177人 区分B 妊娠している女性の夫(児の父親) 57人 ・印刷製本費 48,405円 ・通信運搬費 5,670円 ・接種委託料 1,122,000円
7 外来生物現況把握調査委託 (環境課)	898,800円	特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況及び被害状況の把握並びにアライグマ、ハクビシンの捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、生息状況調査、捕獲、防除等を実施した。

事業名等	事業費	内容と成果
8 電気自動車用急速充電器保守委託 (環境課)	235,725 円	平成 25 年 10 月 1 日から電気自動車用急速充電器の有料化を実施したことに伴い、24 時間対応のコールセンター受付サービス並びに適正な点検及び故障時の迅速な対応を行うための保守サービスを実施し、利用者の安全な利用を図った。
9 自動体外式除細動器 (AED) 借上 (環境課)	38,430 円	リサイクルセンターにおいて、自動体外式除細動器 (AED) の借上げを行った。 ・借上台数 1 台
10 可燃物密閉式コンテナ購入 (環境課)	4,252,500 円	可燃ごみ運搬に使用している可燃物密閉式コンテナについて、さび等により天井部等が腐食していたため、買換えを行った。
11 軽貨物自動車購入 (環境課)	792,509 円	平成 5 年 5 月に購入した公用車 (軽貨物自動車) の買換えを行った。

(4) 商工費

事業名等	事業費	内容と成果
1 まちなかおもてなし事業委託 (シティセールス推進課)	9,757,000 円	福生市観光案内所「まちなかおもてなしステーション くるみるふっさ」において、主に次の事業を実証実験として実施し、多種多様な福生市の魅力を発信した。 ・観光ガイドツアーを 12 回実施し、毎回異なるテーマを設けて市内各スポットを巡った (参加者延べ 192 人)。 ・観光案内所において、来所者に対する観光案内、福生市及び友好交流都市 (登別市及び守山市) 製品の紹介、宣伝、販売等を行った。 ・各種市内外イベントに観光案内所として参加し、福生市の魅力をアピールした。 ・「らくらくお買物代行サービス」として、市内在住の高齢者や子育て世帯、障害者等、日常の買い物が困難な方を対象とした代行サービスを実施した (会員数 70 人、375 回の利用)。 (東京都緊急雇用創出事業を活用)
2 まちづくり振興推進事業委託 (シティセールス推進課)	2,299,500 円	平成 24 年度から継続して、人口流出要因の把握、コミュニティビジネスセミナーの開催、わがまちの宝探しの実施、商店街の活動支援及び報告書の作成を委託した。
3 振り込め詐欺ゼロキャンペーン事業委託 (シティセールス推進課)	13,702,500 円	高齢者世帯 (65 歳以上の高齢者を含む世帯) に二人一組 (7 チーム) で訪問し、振り込め詐欺防止啓発パンフレット及びグッズを手渡し、音声再生等で振り込め詐欺の手口や注意点を説明した。そのことにより、高齢者の振り込め詐欺被害を未然に防ぐことに努めた。 ・訪問世帯数 7,490 世帯 ・実施期間 平成 25 年 9 月 30 日から平成 26 年 2 月 14 日まで (東京都消費者行政活性化交付金を活用)

事業名等	事業費	内容と成果
4 悪質商法退治はたっけー☆☆にお任せ！大作戦事業委託 (シティセールス推進課)	7,238,700円	市公式キャラクター「たっけー☆☆」による消費生活問題の注意喚起等の啓発活動を実施した。 ・活動内容 たっけー☆☆による啓発パンフレット・グッズの配布 ・主な参加イベント 学童新春大会、高校文化祭、成人式、敬老大会、インターナショナルフェア等 (東京都消費者行政活性化交付金を活用)

(5) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業 (施設課)	3,769,500円	今後の老朽化が予想される市の管理する橋りょうについて、従来の事後的な架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへ円滑な政策転換を図り、費用縮減を図りつつ地域の道路網の安全性及び信頼性を確保するため、橋りょう長寿命化計画策定業務を実施した。 ・橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料 3,769,500円
2 市道第1006号線改良事業 (施設課)	3,738,000円	舗装の老朽化に対処し、歩行者の安全に配慮するため、舗装打替工事及びカラー舗装を実施した。 ・舗装打替工事 437㎡ ・カラー舗装工事 108㎡ ・工事請負費 3,738,000円
3 市道幹線Ⅱ-10号線(銀座通り)改良事業 (施設課)	4,299,750円	車道のインターロッキングブロック舗装の凹凸及び破損を改修するため、ブロックの新規材料による張替え、滑り止め舗装工事等を実施した。 ・インターロッキングブロック舗装工 197㎡ ・滑り止め舗装工事 37㎡ ・工事請負費 4,299,750円
4 市道第138号線改良事業 (施設課)	12,866,700円	舗装の老朽化に対処し、歩行者の安全に配慮するため、舗装打替工事及び防護柵設置工事を実施した。 ・舗装打替工事 2,938㎡ ・防護柵設置工事 190.0m ・工事請負費 12,866,700円
5 市道第1160号線道路改良事業(宿橋通り) (施設課)	19,087,358円	電線類を地中化し、景観に配慮した安心で安全な歩車共存の道路として整備するため、東京電力及びNTTに引込・連系管設置工事を委託した。 ・延長 303.9m 幅員 6.5m ・引込・連系管設置工事委託 一式 ・工事委託料 19,087,358円
6 道路照明灯LED化事業 (施設課)	210,255,150円	既存の道路照明灯(蛍光灯・水銀灯)をLED化し、CO ₂ 排出量及び電気料金の削減を図るため、3,009灯のLED化を実施した。 ・工事請負費 210,255,150円

事業名等	事業費	内容と成果
7 市道幹線Ⅱ-19号線 外1改良事業 (施設課)	134,496,600円	歩道拡幅及び舗装打替等の道路改良工事を平成24年度より実施し、平成25年度は第2工区として、福生第六小学校北側から幹線Ⅱ-19号線終点付近まで実施した。 ・延長 498.5m 幅員 16.0m ・排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 ・監理委託料 1,900,500円 ・工事請負費 132,596,100円
8 緑の基本計画策定支援 委託 (まちづくり計画課)	3,990,000円	平成10年度に策定した緑の基本計画について、分析・評価・見直しを行い、市民参加を重視しながら、今後10年間の新たな計画として、平成24年度及び平成25年度の2か年で改定した。 ・緑の基本計画策定支援委託料 3,990,000円
9 住宅マスタープラン策 定支援委託 (まちづくり計画課)	3,811,500円	平成19年7月に策定した計画について、人口減少・少子高齢化等の社会情勢の変化を踏まえ、住生活・住環境の面から福生市での定住化を推進するため、今後10年間の新たな計画として、住宅マスタープランを改定した。 ・住宅マスタープラン策定支援委託料 3,811,500円
10 都市計画マスタープラン 変更業務委託 (まちづくり計画課)	3,717,000円	福東地域に災害時対応施設を整備するに当たり、大規模地震発生時等の防災拠点としての新たな位置付けを都市計画に関する基本的な方針である福生市都市計画マスタープランに定めるため改定した。 ・都市計画マスタープラン変更業務委託料 3,717,000円
11 都市計画道路3・4・ 7号線整備事業 (まちづくり計画課)	17,645,260円	平成27年度の事業認可に向け、第一工区として柳通りの福生駅東口交差点から産業道路の東福生交差点まで(延長350m)の間の業務委託を実施した。 ・職員旅費 9,960円 ・通信運搬費 10,000円 ・整備業務委託料 17,625,300円 事業概要説明会開催 参加者 45人 現況、路線測量 道路基本設計 交通量調査
12 遊歩道階段改良事業 (施設課)	24,675,000円	老朽化したせせらぎ遊歩道の階段改修を実施した。 ・階段踏板取替 L=83.8m ・林床整備 627㎡ ・階段上部改修(擬木化) 3箇所 ・木部手摺・藤棚等塗装、階段基礎鉄部塗装
13 福東緑地整備事業 (施設課)	112,587,793円	福東地区の国有地を無償で借用し、市民の憩いの場、子どもたちの遊び場として、生活環境の向上を目的に緑地整備事業を行った。 ・公園整備 12,627㎡ 健康遊具2基、防災ベンチ2基、防災緑台1基 トイレ設置(男女・誰でも) 1箇所 高・中・低木植栽 1,281本 ・管理棟設置(事務所・倉庫) 400.88㎡ 車庫棟設置 164.03㎡
14 玉川上水緑地日光橋公園 等整備事業 (施設課)	4,205,888円	玉川上水緑地日光橋公園の園内通路、木製階段等の改修を行うための実施設計を行った。 ・実施設計委託 4,179,000円 ・消耗品その他 26,888円

事業名等	事業費	内容と成果
15 第二市営住宅外壁調査委託 (まちづくり計画課)	819,000 円	第二市営住宅A B棟の外壁タイルについて、全面打診による劣化調査を行った。 ・第二市営住宅外壁調査委託料 819,000 円
16 第三市営住宅エレベーター設置事業 (まちづくり計画課)	118,732,589 円	バリアフリー化を図るため、平成 22 年度から実施してきた第三市営住宅エレベーター設置事業について、平成 25 年度は 4 号棟の設置工事を実施し、全 5 棟への設置を完了した。 ・職員旅費 1,240 円 ・消耗品費 29,000 円 ・監理委託料 2,835,000 円 ・工事請負費 115,867,349 円

(6) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 消防団制服等更新事業 (安全安心まちづくり課)	2,511,846 円	消防団員の冬用活動服の更新を行い、活動時の安全確保を図った。 ・冬用活動服一式 193 着
2 消防団編上安全靴購入 (安全安心まちづくり課)	1,660,050 円	消防団員の災害現場での活動を想定し、編上安全靴を全団員に配備した。 ・編上安全靴 186 足 (多摩移管 120 周年市町村消防団訓練強化費補助金を活用)
3 消防団員入団促進事業 (安全安心まちづくり課)	220,000 円	消防団員の入団促進を図るため、消防団員募集のポスターとリーフレットを作成し、ポスターは各町会・自治会掲示板、市関連施設に掲示し、リーフレットは全戸配布した。
4 消防団震災対策用具購入 (安全安心まちづくり課)	1,370,250 円	消防団員の災害現場での活動を想定し、震災対策用具を消防団に配備した。 ・チェーンソー 6 台 ・油圧式ジャッキ 6 台 ・背負式・救助資機材セット 12 組 ・パタット担架 6 枚 (多摩移管 120 周年市町村消防団訓練強化費補助金を活用)
5 消防ポンプ自動車更新事業 (安全安心まちづくり課)	19,461,863 円	老朽化及び排出ガス規制により使用できなくなる消防ポンプ自動車を、新たな自動車運転免許制度に対応可能な小型車両に更新した。 ・車両型式 いすゞ CD-I 型 ・配車分団 第一分団
6 消防団車庫改良事業 (安全安心まちづくり課)	4,462,319 円	災害時の活動拠点となる消防団車庫、火の見やぐら等の塗装工事及び屋上防水工事並びに平成 26 年度の工事実施に向けた実施設計を行った。 ・実施分団 第五分団 (平成 26 年度工事用実施設計) 第二分団 (工事) ・消耗品費等 10,319 円 ・設計委託料 598,500 円 ・監理委託料 451,500 円 ・工事請負費 3,402,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
7 福生市地域防災計画修正及び福生市事業継続計画（震災編）策定事業 （安全安心まちづくり課）	2,503,507円	東日本大震災の教訓、東京都地域防災計画の修正等を踏まえて、福生市地域防災計画の修正及び概要版の全戸配布を行った。また、災害時に行政機能を迅速に復旧・復興を実現するため、福生市事業継続計画（BCP）を策定した。 ・地域防災計画等作成委託料 1,927,800円 ・地域防災計画概要版配布委託料 575,707円
8 福生市防災マップ・洪水等ハザードマップ作成 （安全安心まちづくり課）	2,296,352円	福生市地域防災計画の改定に合わせ、避難経路・避難場所、土砂災害警戒区域、浸水想定区域、防災機関等の情報を掲載し、全戸配布を行った。 ・防災マップ・洪水等ハザードマップ作成委託料 1,764,000円 ・防災マップ・洪水等ハザードマップ配布委託料 532,352円
9 防災行政無線戸別受信機貸与事業 （安全安心まちづくり課）	854,700円	災害情報を確実に伝達するため、防災行政無線難聴世帯のうち希望する市民に対し、戸別受信機の貸与を行った。 ・貸与台数 15台 854,700円
10 福東地域災害時対応施設整備事業 （安全安心まちづくり課・学校給食課）	—	平成29年度開設を目標に、福東地域に防災施設及び食育施設を併せ持ち、平常時は応急給食機能を活用し、学校給食を提供する災害時対応施設の整備を進めていく。 平成25年度は、債務負担行為補正を行い、平成26年度6月末までを委託期間として、施設整備の基本的な考え方、施設の概要並びに中学校給食の検討などを内容とする基本計画策定に着手した。 災害時対応施設整備基本計画策定支援委託料 履行期間 平成25年11月28日から平成26年6月30日まで 契約金額 5,145,000円

(7) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 「ふっさっ子未来会議」の設置 （庶務課）	325,000円	児童・生徒の基礎学力の定着、不登校、健全育成等の課題の解決のため、子どもに関係する機関が連携し、審議し改善策を提案する「ふっさっ子未来会議」を設置し、会議を5回開催して検討を行った。 ・ふっさっ子未来会議委員謝礼 325,000円
2 学校図書館司書配置事業 （指導室）	6,753,600円	小中学校の図書館に専任の司書を配置し、学校図書館の環境整備、読書活動支援、授業支援及び調べ学習支援の強化を図った。（平成25年6月より配置）
3 スポーツ教育推進校事業 （指導室）	1,499,222円	福生第三小学校、福生第七小学校及び福生第一中学校が東京都教育委員会の指定を受け、児童・生徒の健康増進及び体力向上を図るとともに、積極的に運動及びスポーツに親しむためのスポーツ教育を推進した。
4 教育相談・就学支援事業 （指導室）	15,139,500円	教育センターに専任教育相談員4名及び心理相談員3名を配置し、いじめ相談、発達相談、不登校相談等の学校相談機能の充実を図った。また、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー及び子ども家庭支援センターとの連携を強化した。
5 日本の伝統・文化理解教育推進事業 （指導室）	198,196円	福生第三小学校、福生第四小学校及び福生第二中学校の3校において、日本の伝統及び文化に関する教育の充実を図るため、各教科等において、太鼓、藍染め等の体験学習に地域の人材、教材等を活用し、各学校で伝統文化理解教育を推進した。

事業名等	事業費	内容と成果
6 理数教育推進事業 (指導室)	1,097,520 円	小学校第5・6学年及び中学校全学年の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う「理科支援員」を配置し、理数教育の充実を図った。
7 小中一貫教育推進事業 (指導室)	875,500 円	中学校区単位で取り組んでいる小中学校の連携事業を入口にして、各校のニーズや現状に応じて協働実践の内容を深め、義務教育9年間を見通した小中一貫教育に係る研究を推進し、福生第三中学校区をモデルとして魅力ある教育を実践した。
8 学力向上パートナーシップ事業 (指導室)	1,858,924 円	福生第二小学校及び福生第二中学校が東京都教育委員会の指定を受け、重点教科である算数・数学の学力向上を図った。
9 言語能力向上推進事業 (指導室)	597,946 円	福生第五小学校が東京都教育委員会の指定を受け、校内研修会、研究授業等を実施し、教員の言語能力の向上を図った。
10 理数フロンティア校事業 (指導室)	398,707 円	福生第四小学校及び福生第三中学校が東京都教育委員会の指定を受け、効果的な教材及び指導方法の開発、理数教育地区公開講座の開催等を実施して、その内容を地域の各学校に対して情報発信するとともに、地域の各学校の教員を対象とした理数教育に関する研修等を行った。
11 小学校体育館非構造部材調査委託 (庶務課・施設課)	2,920,806 円	地震時における児童の安全確保及び災害時の避難所となる学校体育館の機能確保のため、落下のおそれのある天井、照明器具等の調査を行った。 ・調査校 小学校7校
12 小学校校舎外壁等調査委託 (庶務課・施設課)	3,519,117 円	経年劣化による外壁の落下及び屋上の雨漏りを防止するとともに、児童の安全確保及び良好な維持管理を行うため、打診及び目視による調査を行った。 ・調査校 福生第一小学校、福生第二小学校
13 小中学校災害時備蓄品整備事業 (指導室)	3,972,307 円	東京都帰宅困難者対策条例に基づき、大規模な地震その他の災害発生時に、市立小中学校において、教職員、児童・生徒等に対して学校内での待機その他安全確保のために必要な措置を講じるため、食糧、水及び毛布の備蓄を行った。
14 通学援助費支給事業 (指導室)	253,168 円	特別支援学級固定級に通っている児童生徒にのみ支給していた通学援助費について、通級指導学級、日本語学級及び適応支援室入級者まで対象を拡充し、特別支援教育の推進を図った。
15 小学校体育館床改良事業 (庶務課・施設課)	1,942,500 円	体育館の床が老朽化し、授業及び学校開放に支障を来していたため、床改良工事を実施し、授業の効率化及び安全対策を図った。 ・実施校 福生第七小学校 ・既存床研磨、塗装 657 m ² 、バスケットボール、バレーボール外ライン一式
16 中学校体育館非構造部材調査委託 (庶務課・施設課)	859,194 円	地震時における生徒の安全確保及び災害時の避難所となる学校体育館の機能確保のため、落下のおそれのある天井、照明器具等の調査を行った。 ・調査校 福生第一中学校、福生第二中学校
17 中学校校舎外壁等調査委託 (庶務課・施設課)	1,709,883 円	経年劣化による外壁の落下及び屋上の雨漏りを防止するとともに、生徒の安全確保及び良好な維持管理を行うため、打診及び目視による調査を行った。 ・調査校 福生第一中学校

事業名等	事業費	内容と成果
18 中学生東京駅伝大会支援事業 (指導室)	719,825 円	平成 25 年度第 5 回中学生東京駅伝大会に参加する福生市立中学校代表選手及び支援スタッフのユニフォーム、ベンチコート、のぼり旗等を、開催時期に合わせて新たに購入し、選手・スタッフの健康管理を図り、選手の参加意欲の喚起及び活動を支援した。
19 中学校体育用武道用防具整備事業 (指導室)	1,443,750 円	中学校の新学習指導要領実施により、体育の授業において武道が必修化されたことに伴い、福生市では中学校全校・全学年が剣道を選択したため、借上げにより剣道防具一式を整備した。
20 給食用スプーン等購入 (学校給食課)	2,828,385 円	これまで使用していた先割れスプーンを廃止し、スプーン、フォークを購入した。また、スプーン、フォーク及び箸の 3 種類を、献立に合わせて使用することにより、食事マナーの向上及び食育の推進を図った。 ・スプーン、フォーク 各 4,200 本 ・スプーン・フォーク通し 210 個 ・運搬かご、運搬かご用アルミ容器 各 35 個 ・クラス名記入用ネームプレート 250 個
21 配缶用自動台秤購入 (学校給食課)	1,232,910 円	提供する学校給食について、秤置台車に載せた自動台秤で計量し、配缶することで、児童の成長に必要な栄養の確保及び文部科学省の衛生管理基準に則った配缶が可能となった。 ・自動台秤、秤置台車 各 6 台
22 子ども体験塾広域連携事業負担金 (福生市負担金額) (生涯学習推進課)	305,925 円	子どもたちが自然と郷土を愛する心を育むとともに、自然の大切さ及び環境保全を考えるきっかけとなることを目的として、自然豊かな多摩川での活動並びに自然及び環境に関する学習機会の提供を行った。(青梅市、福生市、羽村市、奥多摩町広域連携事業) ・事業内容 多摩川の自然観察会 さかなやくじらに関する講演会 折紙制作等のワークショップ 映画上映 ・実施期間 平成 25 年 7 月 30 日から 8 月 25 日まで ・会場 青梅市・福生市・羽村市・奥多摩町の多摩川、 羽村市生涯学習センターゆとろぎ ほか ・参加人数 延べ 5,624 人 ・講師 東京海洋大学客員准教授 さかなクン ほか
23 市民会館消火配管等改良工事 (公民館)	1,155,000 円	火災発生時に使用する市民会館スプリンクラーの送水口側の逆支弁と止水弁が経年劣化したため、取替え及び位置を変更する改良工事を実施した。 ・工事請負費 1,155,000 円
24 市民会館備品購入 (公民館)	650,160 円	設置後 10 年以上経過した市民会館の消火器 42 本を買い換えるとともに、老朽化した第 4・5 集会室の電子ピアノ 1 台を買い換えた。 ・備品購入費 650,160 円 (消火器 375,795 円、電子ピアノ 1 台 274,365 円)
25 公民館備品購入 (公民館)	1,024,356 円	市民会館・公民館視聴覚室及び松林分館の備品を購入した。 ・備品購入費 1,024,356 円 (市民会館・公民館視聴覚室 電子ピアノ 1 台、椅子 30 脚、 会議用机 6 台等 924,606 円 松林分館 陶芸窯用温湿度計等 99,750 円)

事業名等	事業費	内容と成果
26 さくら会館空調設備保守点検委託 (公民館)	525,000 円	さくら会館の空調設備の年間保守点検及び清掃を専門業者に委託し、空調設備の適正な維持管理を図った。 ・冷暖房空調設備保守委託料 525,000 円
27 さくら会館外壁改良事業 (公民館)	25,051,916 円	さくら会館の外壁塗装部分が7割近く剥離し、崩落の危険性があるため、さくら会館外壁の改良工事を実施した。 ・監理委託料 945,000 円 ・工事請負費 24,106,916 円
28 図書館基本計画策定事業 (図書館)	0 円 (内部印刷)	図書館協議会答申「福生市立図書館の今後の図書館のあり方について」を受け、策定プロジェクトを設置した。 来館者調査を経て素案を作成し、図書館協議会での意見聴取、議会での意見聴取、パブリックコメントの実施を経て2月教育委員会において決定した。
29 わかざり会館・図書館リニューアルオープン記念事業 (図書館)	50,000 円	わかざり会館・図書館のリニューアルオープンを記念して、講演会を実施した。 ・山口創講演会「手の治癒力」 日時 平成25年6月16日(日) 午前10時から12時まで 講師 山口創(桜美林大学准教授) 場所 わかざり会館 参加人数 46名 講演会講師謝礼 50,000 円
30 40周年記念事業 (図書館)	535,075 円	昭和48年4月に図書館設置条例が施行され、平成25年度に40周年を迎えたため記念事業を行った。 ・増田明美講演会「本は人生の伴走者」 日時 平成25年9月27日(金) 午後7時から 講師 増田明美(スポーツジャーナリスト) 場所 市民会館小ホール 参加人数 243名 講演会講師謝礼 206,000 円 印刷製本費 78,750 円 会場借上料 14,000 円 手数料(看板作成・撤去) 31,500 円 ・山花郁子講演会「歌と語りでひろがる輪」 日時 平成25年11月16日(土) 午後2時から4時まで 講師 山花郁子(児童文学者) 場所 中央図書館2階研修室 参加人数 26名 講演会講師謝礼 30,000 円 ・40周年記念誌「本はともだち」発行 印刷製本費 174,825 円
31 学校図書館連携システム導入 (図書館)	562,275 円	指導室と連携し、学校司書の拠点を中央図書館内に設置するためテーブルを購入し、研修、打合せ等を実施した。また、市立図書館電算システムと連携し、蔵書の一体管理を図った。 ・プログラム使用料(学校連携分) 477,750 円 ・備品購入費 84,525 円

事業名等	事業費	内容と成果
32 中央図書館、武蔵野台 図書館印刷機借上 (図書館)	39,366 円	中央図書館及び武蔵野台図書館の印刷機が老朽化により不良となったため、機器の借上げを実施した。 ・借上台数 2 台 ・借上料（平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日） 39,366 円 ※賃貸借（60か月）料金総額 262,500円 ※借上期間 平成 25 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日まで
33 中央図書館排煙設備調 査委託 (図書館)	850,500 円	平成 23 年度の建築設備定期検査において、排煙設備の風量不足が指摘されたことを受け、指摘内容の確認及び想定し得る原因の調査を実施した。 ・排煙設備調査委託料 850,500 円
34 中央図書館収蔵庫空調 設備改良工事 (図書館)	3,297,000 円	郷土資料室の資料を保存する収蔵庫の空調機が老朽化により不良となったため、改良工事を実施した。 ・中央図書館収蔵庫空調設備改良工事 3,297,000 円
35 わかたけ会館改良事業 (図書館)	8,432,482 円	築 36 年を経過したわかたけ会館の内外装、屋上防水、空調設備の改修及びバリアフリー化、地球温暖化対策に配慮した施設改良とともに、図書室を増築する実施設計を作成した。 ・職員旅費 7,560 円 ・消耗品費 11,472 円 ・設計委託料 8,400,000 円 ・有料道路使用料 13,450 円
36 プチギャラリー防犯カ メラ借上 (生涯学習推進課)	214,200 円	当初設置の防犯カメラが老朽化し、不具合が生じたため、新たな機材を設置し、より一層の安全管理と犯罪の抑制を図るため、防犯カメラの借上げを行った。
37 プチギャラリーエレベ ーター改良事業 (生涯学習推進課)	620,970 円	プチギャラリーに設置されているエレベーターの室内が老朽化したため、室内照明の追加と室内パネル等の交換を行い、利用者が安全に安心して利用できるよう改良工事を実施した。
38 施設予約等システム導 入事業 (スポーツ推進課)	7,464,240 円	全てのスポーツ施設における空き情報の提供、施設予約等のシステムを導入し、抽選会・事前予約の事務の効率化及び市民サービスの向上を図った。 ・施設予約等システム導入委託料 4,410,000 円 ・電算機購入 2,236,500 円 ・プログラム使用料 642,600 円 ・電算機借上料 175,140 円
39 ラン&ウォーク推奨事 業 (スポーツ推進課)	160,000 円	ランニング・ウォーキングの指導者養成や市民向け講習会を開催し、各事業と関連性を持たせ、相乗効果を得られるような事業を実施した。 ・ウォーキング講習会、ランニング教室等 4 事業
40 市民総合体育大会開催 委託 (スポーツ推進課)	1,683,150 円	市民総合体育大会を市民の自主的な運営による大会にするため、準備及び大会運営を一本化して実施した。
41 市営プール指定管理委 託事業 (スポーツ推進課)	16,485,000 円	民間事業者のノウハウを活用し、安全性を優先的に考慮した上で、効果・効率的な施設管理運営、市民サービスの向上及びコストの削減を図るため、市営プールに指定管理者制度を導入した。

事業名等	事業費	内容と成果
42 市営プール改良事業 (スポーツ推進課)	4,750,200 円	市営プールのスライダーの老朽化が著しいため、更新及び躯体の塗装を実施し、利用者の安全確保及び利便性の向上を図った。 ・工期 平成 25 年 4 月 18 日から 6 月 14 日まで ・工事請負費 4,750,200 円
43 中央公園グランドダッグアウト改良工事 (スポーツ推進課)	1,323,000 円	中央公園グランドダッグアウトが老朽化し、柱部分が破損しているため、改良工事を実施した。 ・工期 平成 26 年 2 月 14 日から 3 月 28 日まで ・工事請負費 1,323,000 円
44 屋外体育施設備品購入事業 (スポーツ推進課)	346,500 円	屋外体育施設の老朽化した備品を買い換えた。 ・市営競技場 サッカーゴール 1 組 346,500 円
45 中央体育館トレーニング機器更新事業 (スポーツ推進課)	2,861,460 円	中央体育館に整備しているトレーニング機器の老朽化に伴い、機器の更新を行い、安全性の高い適切な施設管理を行った。 ・トレーニング機器借上料 2,619,960 円 ・ランニングマシン借上料 241,500 円

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給付費 (保険年金課)	3,605,772,689円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 268,032円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 195,594円 ・一般被保険者一人当たり年間受診件数 14.08件 ・1件当たり費用額 19,041円
2 退職被保険者等療養給付費 (保険年金課)	261,352,545円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 348,259円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 243,572円 ・退職被保険者等一人当たり年間受診件数 17.15件 ・1件当たり費用額 20,307円
3 一般被保険者療養費 (保険年金課)	51,858,348円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 3,734円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,813円 ・支給件数 7,627件 ・1件当たり保険者負担額 6,799円
4 退職被保険者等療養費 (保険年金課)	3,578,372円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 4,764円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,335円 ・支給件数 527件 ・1件当たり保険者負担額 6,790円
5 一般被保険者高額療養費 (保険年金課)	439,260,806円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が80,100円(上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 6,771件 ・1件当たり保険者負担額 64,874円
6 退職被保険者等高額療養費 (保険年金課)	33,036,191円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が80,100円(上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 348件 ・1件当たり保険者負担額 94,932円
7 出産育児一時金 (保険年金課)	44,661,368円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 107件 ・1件当たり支給額 390,000円 8件 420,000円 99件(産科医療補償制度に加入している場合)
8 葬祭費 (保険年金課)	5,400,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 108件 ・1件当たり支給額 50,000円

事業名等	事業費	内容と成果
9 結核・精神医療給付金 (保険年金課)	4,961,626 円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。 ・支給件数 4,256 件 ・1件当たり支給額 1,166 円
10 後期高齢者支援金等 (保険年金課)	1,014,853,223 円	後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。 ・後期高齢者支援金 1,014,770,782 円 ・事務費拠出金 82,441 円
11 介護給付費納付金 (保険年金課)	427,177,054 円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 59,588 円×7,209 人－2,392,838 円(平成23年度精算分)
12 共同事業拠出金 (保険年金課)	766,644,932 円	国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。 ・高額医療費共同事業拠出金 171,340,858 円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 595,302,600 円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,474 円
13 高額療養費資金貸付 (保険年金課)	9,911,177 円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 59 件 ・貸付金額 9,911,177 円 ・費用額 44,279,410 円
14 レセプト点検委託(柔道整復師等療養費) (保険年金課)	508,734 円	柔道整復師等の療養費に対するレセプトの内容点検を行い、過大請求の抑制など医療費の適正化を図った。 ・点検件数 590 件 ・削減効果額 610,035 円
15 特定健康診査・特定保健指導事業 (健康課)	52,339,400 円	平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 対象者 11,414 人 受診者 5,286 人 受診率 46.3% ・特定保健指導 対象者 604 人 積極的支援参加者 12 人 動機づけ支援参加者 53 人 実施率 10.8%
16 ジェネリック医薬品(後発医薬品)差額通知事業 (保険年金課)	278,185 円	医療行為等を受けた被保険者にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額を通知することにより、薬価の節減効果を周知し、ジェネリック医薬品の使用を広く普及させ、療養給付費等の歳出削減につなげた。 ・通知書送付(3回) 3,600 人 ・後発医薬品利用率 32.4% ・削減効果額 2,505,499 円

3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険システム使用料 (介護福祉課)	3,240,720 円	介護保険システムを使用することにより、介護保険事務の効率化を図った。
2 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	6,288,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
3 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	5,634,000 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
4 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	8,264,550 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
5 要介護認定調査委託料 (介護福祉課)	214,200 円	遠隔地の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
6 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	2,996,735,766 円	要介護認定（要介護 1 から 5 まで）を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
7 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	78,734,627 円	要支援認定（要支援 1・2）を受けた被保険者に対して、介護予防サービスを給付した。
8 審査支払手数料 (介護福祉課)	3,669,684 円	介護給付費及び公費負担等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
9 高額介護サービス費 (介護福祉課)	69,744,231 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
10 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	1,796 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
11 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	6,701,343 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。
12 高額医療合算介護予防サービス費 (介護福祉課)	40,710 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護予防サービス費を支給した。
13 特定入所者介護サービス費 (介護福祉課)	141,769,310 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護サービス費を支給した。
14 特定入所者介護予防サービス費 (介護福祉課)	9,870 円	低所得者の要支援者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護予防サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
15 認知症予防事業 (介護福祉課)	1,283,600 円	要支援者及び要介護者を除く 65 歳以上の方を対象として行う二次予防事業対象者把握事業(基本チェックリスト)において、二次予防事業対象者となった方を対象として実施した。75 歳以上の二次予防事業対象者で 1 クール(3 か月 12 回)、65 歳以上 75 歳未満の二次予防事業対象者で 1 クールの計 2 クール実施した。 ・認知症予防教室延参加者 40 人

4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 広域連合納付金 (保険年金課)	917,332,969 円	<p>後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費負担金 351,316,654 円 ・保険料等負担金 430,123,600 円 ・保険基盤安定負担金 75,406,602 円 ・事務費負担金 18,265,260 円 ・保険料軽減措置負担金 42,220,853 円
2 保健事業 (保険年金課)	23,945,759 円	<p>後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査費 23,491,778 円 ・健康増進費 453,981 円
3 葬祭費支給 (保険年金課)	17,750,000 円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 355 件 ・1件当たり支給額 50,000 円

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 横田基地汚水流量計更新 (施設課)	6,457,500円	横田基地下水道料金算定のための汚水排水量を計測する流量計のうち、計量器部分の交換を実施した。 ・工事請負費 6,457,500円
2 雨水幹線整備事業 (立川第2排水区) (施設課)	208,128,411円	熊川福東地区の雨水処理が不十分であり、冠水箇所があることから、当該地区を3工区に分け、平成24年度から債務負担行為にて雨水管整備工事を実施した。 第2工区(債務負担) ・工事請負費 128,582,703円 ・監理業務委託料 8,355,708円 第3工区(単年度) ・工事請負費 65,940,000円 ・監理業務委託料 5,250,000円
3 下水道施設見学会 (施設課)	12,650円	下水道の啓発活動として、市内の子どもを対象に夏休み期間を利用して、下水道施設の見学会を実施した。 ・8月5日 多摩川上流水再生センター(昭島市) G&U技術研究センター(埼玉県川島町) 親子5組12名(子ども7名、大人5名) ・8月12日 首都圏外郭放水路(春日部市) 子ども28名、大人(付添い含む。)6名 ・有料道路使用料 12,650円
4 樋管整備事業 (施設課)	1,043,831円	河川占用による、樋管等の占用箇所を示す占用杭の位置の測量及び占用区域内の土砂の撤去を実施した。 ・河川占用区域測量委託(かに坂公園内) 262,500円 ・河川占用区域測量委託(熊川第二樋管) 183,750円 ・土砂碎石撤去工事 597,581円
5 管渠新設改良事業 (下水道施設整備) (施設課)	36,658,170円	下水道事業における事業認可公共下水道の整備及び市内の冠水がみられる箇所について雨水管等の敷設の設計及び工事を実施した。 (汚水) ・熊川338番地先 設計委託料 1,890,000円 工事請負費 4,711,003円 (雨水) ・武蔵野台一丁目4番地先 設計委託料 4,515,000円 工事請負費 21,334,741円 ・福生1058番地先 工事請負費 2,961,000円 (地下埋設物調査) 委託料 1,246,426円
6 市道幹線I-1号線下水道管整備(志茂立体)事業 (施設課)	6,300,000円	東京都施工の多摩橋通り(都市計画道路3・4・2)拡幅工事及び青梅線西側の設計委託を実施した。 ・設計委託料 6,300,000円
7 汚水処理設備整備事業 (施設課)	7,781,587円	東京都が実施する電線共同溝の工事に際し、先行して下水道管工事を実施した。 ・北田園一丁目13番地先 工事請負費 7,781,587円

事業名等	事業費	内容と成果
8 福生市公共下水道長寿命化基本計画策定委託 (施設課)	12,495,000円	<p>市内污水管路施設の長寿命化を図るため基本計画（更生事業平成28年度から平成48年度まで）を策定した。業者の選定はプロポーザル方式により実施した。</p> <p>・下水道長寿命化基本計画策定委託料 12,495,000円</p>